

取り付け・配線の前に 作業の順序

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.3)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

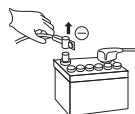
取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、結束バンドや市販のテープなどで要所を固定してください。やむを得ず、車体のフレームなど鋭利な金属部の近くにコードを引き回す場合は、付属のエッジ保護シートでコードを保護してください。
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。
- コードは、ナビゲーションの各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)とは別々に配線してください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、ナビゲーションの映像・音声にノイズが入る原因となります。

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す



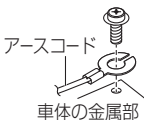
2 カメラの取付位置の見当を付け、上下角度を調整する (P.28)

3 各種コード/ケーブルを接続する(仮接続) (P.34)

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

- 必ずアースコードを最初に接続してください。
- ショート事故防止のため、電源コネクターへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。



4 カメラを仮止めする (P.29)

5 カメラおよびドライブレコーダー本体を貼り付ける (P.30～33)

6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

7 車のエンジンをかけ、取り付け後の確認と調整をする (P.36)

※作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

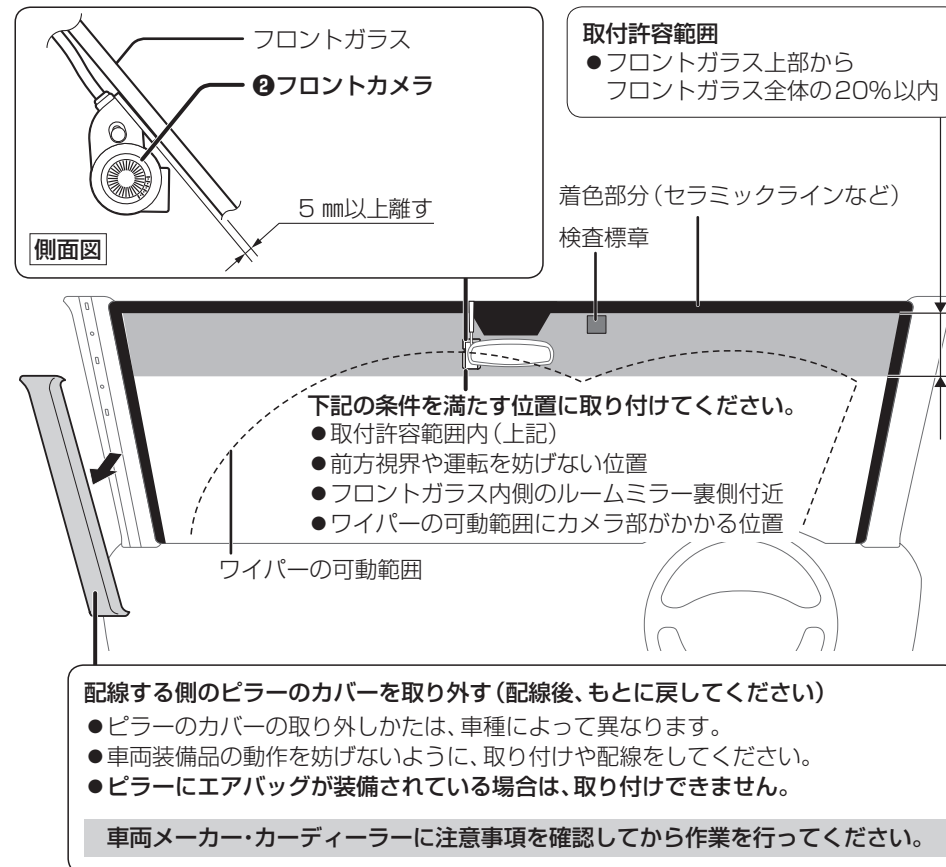
取り付け位置について

フロントカメラの取り付け位置

■ 国土交通省の定める保安基準*1に適合させるため、フロントカメラは、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に取り付けてください。

*1 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)

最新の保安基準は、国土交通省のWeb サイトをご確認ください。



配線する側のピラーのカバーを取り外す(配線後、もとに戻してください)

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

リヤカメラの取り付け位置

下記の条件を満たす位置に取り付けてください。

- 後方視界を妨げない位置
- リヤガラス内側の上部中央付近
- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置

下記のような車両には取り付けられません。

- リヤガラスが可動する車両
- バックドアが上方向以外に開く車両(スライド式・横開きなど)